



もみくんちだより



令和6年 1月発行 Vol.20

昨年末は県内でもインフルエンザや流行性結膜熱、ヘルパンギーナなどの感染症が流行していました。空気が乾燥し気温の低くなるこの時期はインフルエンザやRSウイルスなどの呼吸器感染症やノロウイルス、ロタウイルスなどの感染性胃腸炎など様々な感染症が流行します。感染対策として引き続き手洗い、うがいを実施していきましょう。

今年度も病児病後児保育事業所もみくんちをよろしく願います。

感染性胃腸炎について

冬場に増える感染症に感染性胃腸炎があります。

症状として嘔気・嘔吐・下痢・腹痛・発熱などの症状が現れます。

ウイルス性胃腸炎が多く、ノロウイルス、ロタウイルス、アデノウイルスの3つが多いとされています。



ノロウイルス

嘔吐・下痢症状が強いが、2~3日で回復することが多い。
潜伏期間は1~2日。
感染力が強いため爆発的に流行する傾向がある。

ロタウイルス

初期に39度台の高い熱を伴うことが多い。
嘔吐は1~3日で治まることが多い。
下痢だけが1週間ほど長引く。
便の色がレモン色など薄くなる。

アデノウイルス

発熱や嘔吐はあまりなく、下痢や腹痛が多い。
下痢は1週間程度続くことがある。
季節を問わず発症がみられる

ウイルス性胃腸炎の主な感染経路は「**接触感染**」

予防のために最も重要なのは**手洗い**や**次亜塩素酸ナトリウム**（ハイターなどの塩素系漂白剤）での消毒
感染性胃腸炎の原因となるウイルスには**アルコール消毒は無効**です。

ドアノブなどの人の手が触れる場所や便や嘔吐物で汚染された場所は希釈した次亜塩素酸ナトリウムでの消毒を行いましょう。

リネン類や調理器具は**85度以上の熱湯で1分以上の熱湯消毒が有効**です。



乳幼児では脱水にも注意が必要です！

胃腸炎になったばかりのころは経口補水液

吐き気が落ち着き少し食べられるようになったら
お粥やうどんなど消化にいいものを



病児・病後児保育事業所 もみくんち

〒780-0945 高知市本宮町101-1 デイビスタ-こだま2階

TEL(088)849-2184 開設日:日・祝・年末年始除く 8:00~18:00